

事務事業名		三世代交流事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 生きがいづくりと社会参加の促進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	4825	一般	3	1	3	三世代交流事業				
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成4年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市高齢者の生きがいと健康づくり事業実施要綱				
						実施方法		一部委託		
						事業分類		支援事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		2-9		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
高齢者と児童、児童の親など三世代が交流を深め、地域での活動の幅を広げるため、交流事業を行う。 佐野市老人クラブ連合会へ委託し、10支部において、それぞれに事業を行っている。			高齢者と児童、児童の親など三世代が交流を深め、地域での活動の幅を広げるため、交流事業を行う。 佐野市老人クラブ連合会へ委託し、10支部において、それぞれに事業を行っている。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			参加者数	人	1,072	1,218	1,300			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
おおむね60歳以上の方			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			60歳以上の高齢者数	人	41,687	42,554	43,421			
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
地域の活動に参加してもらえる高齢者、介護をいつまでも必要としない高齢者を増やしていく。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			一次予防事業参加者数	人	4,902	5,105	5,900			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
生きがいをもって生活してもらうとともに、多様な社会活動に参加してもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			ふれあいサロン参加者数	人	61,082	62,341	66,300			
			老人福祉センター利用者数	人	148,959	163,843	144,000			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	200	200	200					
	事業費計(A)	千円	200	200	200	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			事業委託料	200	事業委託料	200	事業委託料	200		
	人件費	人	1	1	1					
のべ業務時間	時間	15	15	15						
人件費計(B)	千円	58	59	59	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	258	259	259	0	0				

事務事業名	三世代交流事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	---------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成4年から生きがいと健康づくり事業の一環として開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高齢者人口が年々増加している反面、少子化が進んでいる。そのため、子どもと高齢者、親の交流は相互理解を含めるためにも重要であり、必要性が高まっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 小学生やPTA、育成会との交流を通じた健康と生きがいづくりを目的としており、社会参加を促し、政策体系と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	委ねている	理由・改善案 高齢者対策として、地域との交流の場を設けることは必要であり、妥当である。老人クラブに事業を委託している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 世代を超えた交流の機会を設けることは大切なことであり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 PTAや育成会の協力のもとに実施されており、十分に世代間の交流が図られている。やり方等は各老人クラブ支部で工夫をし、事業を実施しており成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	類似事務事業名 理由・改善案
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 1支部あたり約2万円の予算であり、参加人数等を考慮すると削減できない。人件費についても必要最小限の人数で対応しているため、削減できない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 小学生などの参加者が多く、受益者負担を求めるのは困難である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	三世代が交流できる数少ない機会であり、ほかに代わるべき事業がなく、廃止・休止はできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			